

科目名	生化学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝疾患時の変化などについて基礎的事項が理解できる。

〔授業全体の内容の概要〕

テキストを骨子に、その他必要と思われる部分は各専門書を参考にしたプリントにて理解を深める。

〔講師の実務経験〕

薬剤師、衛生検査技師として、八尾徳洲会総合病院、国立大阪病院、に勤務。のちに救急救命士資格取得しコメディカルの育成に携わる。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

生化学に対する基礎的知識の理解の指標とする。

回数	講義内容
1	細胞内小器官について 糖の各論
2	糖の代謝(解糖系、TCA回路、電子伝達系)
3	脂質各論(中性脂肪、リポタンパク質、必須アミノ酸)
4	脂質の代謝(β -酸化)、ケトン体について
5	タンパク質の各論(必須アミノ酸、構造、ビリルビン など)
6	タンパク質の代謝(α -ケト酸による代謝、尿素回路 など)
7	遺伝情報(DNA、RNA、複製、転写、翻訳 など)
8	酵素(ビタミン、逸脱酵素 など)酸塩基平衡(アシドーシス・アルカローシス)
	定期筆記試験

〔準備学習・時間外学習〕

〔使用テキスト〕

書籍名	著者名	出版社
救急救命士標準テキスト上巻		へるす出版

〔単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)〕

終講時試験。履修規定に準じる。